

## 入学・進級おめでとうございます！

いよいよ新学期のスタートです。環境が変わると、自分でも気付かないうちに、心や体に疲れがたまってしまう。そんなときは、「いつもより早めに寝る」ことで、しっかり体を休ませましょう。保健室には、今年度も養護教諭の「井戸」がおります。調子が悪い！けがをした！など、困ったときは遠慮なく声をかけてください。一年間、よろしくお願いします！



## 保健室の使い方

保健室に来たとき、伝えることは？



## 保健室でできること◎

- ◎ケガの救急処置
- ◎具合が悪い時の一時休養



◎心配事や悩み等の相談



◎体や健康について学ぶ



できないこと✕



✕お薬はだせません

✕継続した手当はできません

## 相談室・サテライトルームについて

### 【相談室】

- ・ 応接室の向かい側にある部屋です。
- ・ ここでは、主にスクールカウンセラーが相談活動を行っています。

### 【サテライトルーム】

- ・ プレハブ棟にある部屋です。
- ・ ここでは、担当の教員が在室し、個に応じた支援を行っています。

- ★ 相談希望の生徒：職員室東出入口前の「相談箱」に申し込み用紙を入れてください。
- ★ 相談希望の保護者：担任または養護教諭（井戸）までご連絡ください。

### 相談室・サテライトルームの先生

もちだ ともみ

- ★ 望田 友美 先生（スクールカウンセラー）
  - ・ 保護者・生徒のカウンセリングを行います。

こんどう ひでゆき

- ★ 近藤 英行 先生（心の教室相談員）
  - ・ 主に生徒のカウンセリングを行います。

相談時間については、  
スクールカウンセラー  
からのおたよりを  
ご確認ください。

※ 時期や学校行事等によって、  
時間帯が変わることがあります。

今月の  
保健目標

# 自分の健康状態を知ろう

毎年、新年度の初めに定期健康診断が行われます。健康診断は、疾病や異常を早期に発見して治療につなげることで、自分の体について知り、関心をもつきっかけとすることなどを目的としています。

4月5日(金)に、問診票や保健調査票を配付しました。どの書類も健康診断に関わる大切なものです。お早めに担任へ提出をお願いします。

## 【健康診断スケジュール】

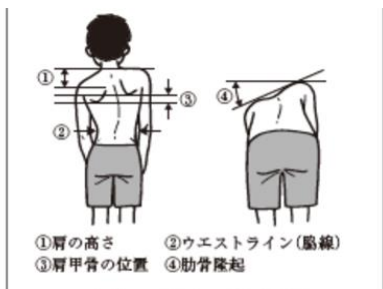
日にち	検診項目	対象
4月9日(火)	視力・聴力・身体測定	全学年 * 聴力検査は1・3年のみ
4月16日(火)	眼科検診	全学年
4月19日(金)	内科検診①	特別支援学級 → 3年生 → 2-1 → 2-2
4月25日(木)	歯科検診	全学年
4月26日(金)	内科検診②	前回欠席者 → 1年生 → 2-3
5月9日(木)	心電図・貧血検査	* 1年生のみ
5月14日(火)	歯科検診 * 予備日	前回欠席者・よい歯の子候補者
5月16日(木)	耳鼻科検診	全学年
5月17日(金)	心電図・貧血検査 * 予備日	前回欠席者 @西部中学校
未定(2日間)	尿検査1次	全学年
未定	尿検査2次	* 2次検査該当者

※ 当日の欠席など、個別の事情により健康診断を受けられなかった場合の対応については個別にご連絡いたします。

健康診断などで  
お世話になる  
先生方です!

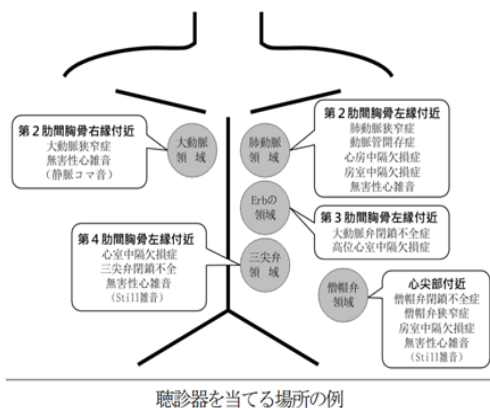
内科：水谷 泰樹 先生(水谷医院)  
耳鼻科：丸尾 猛 先生(丸尾耳鼻科医院)  
眼科：加藤 美子 先生(加藤医院)  
歯科：田口 望 先生(田口歯科医院)  
薬剤師：山田 敬子 先生

## 【内科検診の項目と検診方法】



脊柱に関する検査例

(「児童生徒等の健康診断マニュアル」より)



男女ともに体操服で内科検診を行います。

なお、正確な検査・診察のため、必要に応じて下記のように体操服をめくり視触診したり、聴診器を当て聴診したりすることがあります。

### ① 脊柱の疾病及び異常の有無

保健調査表等の情報を参考に、脊柱の捻れやわん曲などの脊柱の疾病及び異常の有無を確認する際に、正確な判断を行うため、視診し、必要に応じて、背中や腰を触診する場合があります。

### ② 胸郭の疾病及び異常の有無

保健調査表等の情報を参考に、胸部の陥没や突出等の変形などの胸郭の疾病及び異常の有無を確認する際に、正確な判断を行うため、視診し、必要に応じて、前胸部等を触診する場合があります。

### ③ 皮膚疾患の有無

伝染性軟属腫(みずいぼ)や伝染性膿痂疹(とびひ)、アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患の有無を確認する際に、皮膚の状態を視診し、必要に応じて、触診する場合があります。なお、特に外傷の疑いがある場合などは、臀部や腹部を視診する場合があります。

### ④ 心臓の疾患及び異常の有無

心臓の疾患及び異常の有無を確認する際に、下着等の上からでは心臓の音が聞こえづらいため、左図の場所の肌に聴診器を当て聴診します。